

気管支炎の漢方治療

黄 懷龍

一、概 論

(一) 概 念

気管支炎は、気管や気管支が炎症を起こして咳や痰がでる病気のことをいいます。

中医学で咳嗽と称し、主に肺の宣発肃降機能が失調して、肺気が上逆したため、音を出して喀痰することを指す、肺系疾患の主要な証候の1つである。

二、病因病機

(一) 病因

1) 外 感：風邪は六淫の主犯で、常に寒邪、熱邪、燥邪などを伴い、口や鼻、あるいは皮毛から侵入して感受する。

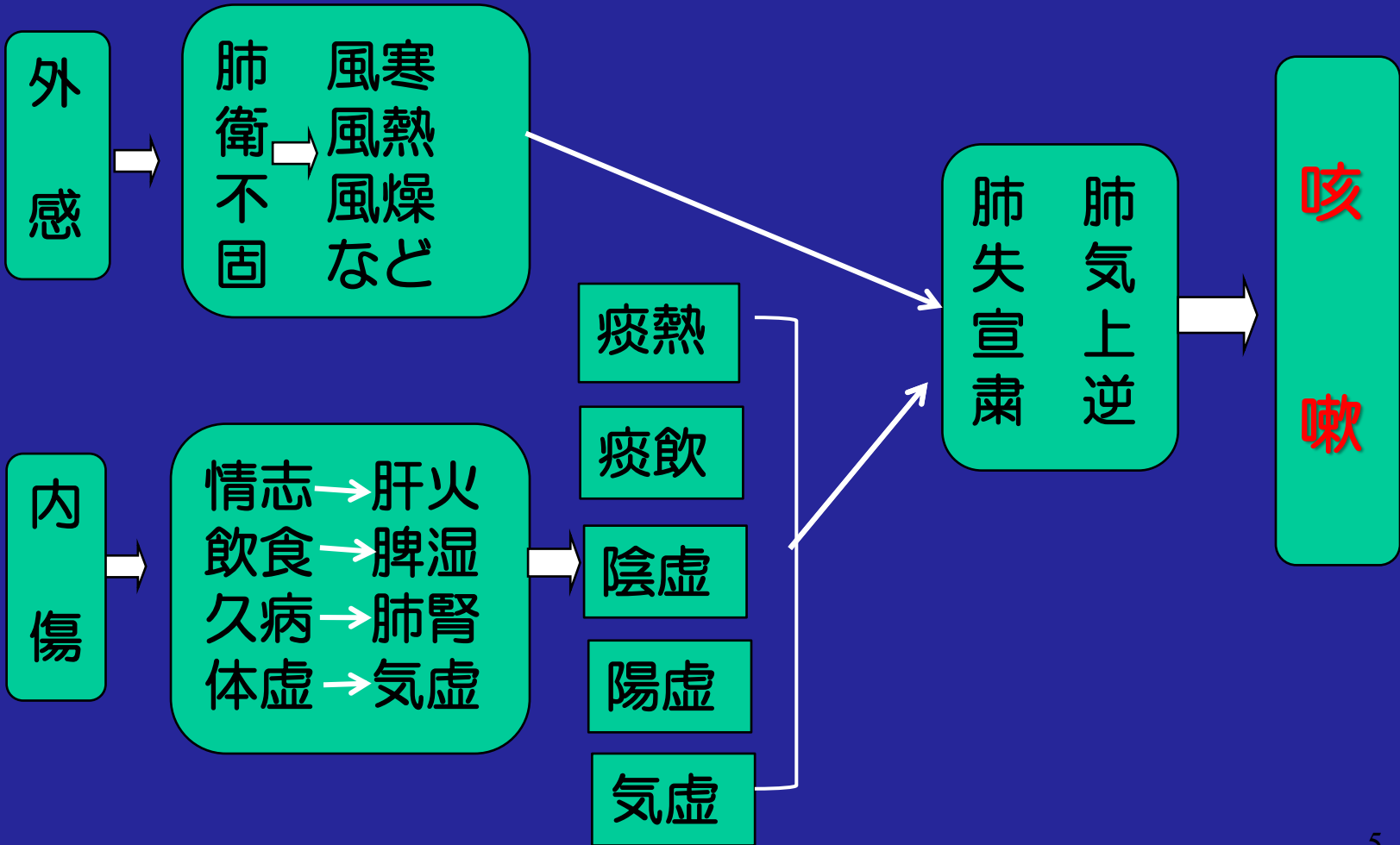
2) 内 傷：臟腑機能が失調して、内邪が肺を犯すもの。他臟腑の病変が肺に及んだものと、肺自体が発病したものの二つがある。

飲食不節、痰湿内生、或はストレスより、肝気鬱結、肝鬱化火、経絡に沿って肺を犯して肺の宣発肃降機能失調。

(二) 病 機

- 1) 基本病機：邪気が肺を犯して、肺の宣粛機能失調、肺気が上逆する。
- 2) 病位：肺にあるが、肝、脾、腎と関連する。
- 3) 病理的な素因：六淫犯肺、臟腑機能失調
 - ①外感咳嗽は実に属す
 - ②内傷咳嗽では虚実が同時にみられる場合が多い、虚実夾雑である。

病因病機



三、弁証論治

(一) 弁証のポイント

1) 外感咳嗽と内傷咳嗽の弁証

| | 外感 | 内傷 |
|------|--------|--------|
| 発症 | 急 | 緩、繰り返す |
| 経過 | 急性 | 慢性 |
| 随伴症状 | 悪寒発熱浮脈 | 他の臓腑症状 |

2) 咳嗽の特徴による弁証

| | |
|-----|--|
| 誘 因 | 多食肥甘:痰湿 ; 疲労・冷やす:気虚、陽虚 ストレス:気火 |
| 経 過 | 昼>夜:外感咳嗽或は内傷咳嗽のなかで邪実が主; 夕方に悪化:陰虚; 夜>昼:陽虚 ; 朝に悪化, 痰を喀出してから軽減:痰湿 ; 発作性咳嗽:百日咳或は気管支に異物がある |
| 性 質 | 空咳:風燥・気火・陰虚 有痰:痰湿・痰熱・痰飲 |
| 音 声 | 有力:実; 無力:虚; 鼻音:風寒; 粗濁:風熱・風燥が肺気を塞滞する; 嘎れ:新病一風燥が津液を耗傷 久病一気陰が不足; 軽微短促:風燥・気火; 重濁連声:痰湿; 金属調子:気火 |

3) 痰の性質による弁証

| | |
|---------|---|
| 色 | 白色:風・寒・湿 灰色:痰濁 黄色:痰熱 膿血:熱毒が塞結して, 血肉が腐敗する |
| 質 | 稀薄:寒・陽虚 粘り:熱 稠厚:痰湿・痰熱 |
| 量 | わずか:風燥・気火 特に多い:痰飲 |
| 匂い 味 | 生臭い:熱 塩辛い:腎虚 |

(二) 治療原則

1) 外感咳嗽：祛邪宣肺

風寒→疏風散寒止咳

風熱→疏風清熱止咳

風燥→疏風潤燥止咳

2) 内傷咳嗽：標本虚実の鑑別を重視し、肺の
治療のほかに、脾、肝、腎にも配慮する

①標本対策 標実が主：祛邪止咳
 正虚が主：補肺養正

②臟腑対策

肺：温宣肺气、清熱肃肺

脾：健脾化痰、補脾養肺

肝：瀉肝、順気、降火

腎：滋補腎陰、温補腎陽

(三) 証 治

外感咳嗽

1、風寒襲肺型

【症状】 咳嗽、音が重く響く。喀痰稀薄、咽喉の痒み
鼻づまり、水様性の鼻水・悪寒発熱・頭痛。
舌苔薄白、脈浮緊

【治法】 疏風散寒、宣肺止咳

【方薬】 三拗湯、止嗽散

2、風熱犯肺型

【症状】 激しい咳嗽が頻発する、咽喉疼痛、痰が粘り或は黄色痰、咳声が嘎れる・息が荒い、黄色の鼻水、口渇・頭痛 悪風・有汗。舌辺尖紅・苔薄黄、脈浮数

【治法】 疏風清熱、宣肺止咳

【方薬】 桑菊飲

3、風燥傷肺型

【症状】 空咳或は喀痰少，喀出しにくい、咽喉が痒い・唇鼻の乾燥、初期には鼻づまり、頭痛、やや悪風寒・発熱。舌質紅・乾燥、脈浮数

【治法】 疏風清肺、潤燥止咳

【方薬】 桑杏湯

内傷咳嗽

1、痰湿蕴肺型

【症状】 咳声が重濁・痰が多く濃厚で、白色或は灰色咳嗽が繰り返す、胸悶、胃脘部の痞満、悪心、嘔吐、舌苔白膩、脈濡滑

【治法】 燥湿化痰、理気止咳

【方薬】 二陳湯、三子養親湯

2、痰熱鬱肺型

【症状】 咳嗽で呼吸が荒い、多量の黄色痰、顔面紅潮。或は発熱・口が乾き。水を飲みたがる、舌質紅・苔黄膩・脈滑数

【治法】 清熱化痰、肅肺止咳

【方薬】 清金化痰湯

3、肝火犯肺型

【症状】 気の逆上・咳がにわか発作する・痰少・喀出しにくい或は顆粒状、糸のような粘痰、胸脇脹痛・口乾口苦、よくストレスにより誘発される、舌苔薄黄、少津、脈弦数

【治法】 清肺瀉肝、順気降火

【方薬】 加減瀉白散、黛蛤散

4、肺陰虧耗型

【症状】 空咳或は少量の白粘痰、或は痰に血液が混じる、咳声が嘎れる、口咽乾燥、ほてり、寝汗、顔面紅潮、瘦せ舌質紅、少苔脈細数。

【治法】 滋陰潤肺、止咳化痰

【方藥】 沙参麦門冬湯

(四) エキス剤の応用

風寒咳：麻黄湯、小青竜湯、神秘湯、麻黄附子細辛湯など。

風熱咳：清肺湯、辛夷清肺湯、竹茹温胆湯、麻杏甘石湯、小柴胡湯、五虎湯、柴陷湯、柴朴湯など。

燥熱咳：麦門冬湯、滋陰降火湯、滋陰至宝湯など。

痰 湿：二陳湯、二陳湯合六君子湯や苓甘姜味辛夏仁湯、二陳湯合平胃散、半夏厚朴湯など。

痰 熱：清肺湯、麻杏甘石湯、竹茹温胆湯、柴陷湯など。

寒 痰：小青竜湯、小青竜湯合四君子湯や麻黄附子細辛湯など。

恢復期：補中益気湯、六君子湯、八味丸、六味丸、滋陰降火湯、滋陰至宝湯など。

四、予防とケア

防寒保温。
耐寒訓練。
禁煙。
補虚固本の治療。



ご清聴ありがとうございました！